

「やさしい日本語」ニュースの見出しの機能

ー見出しの主題成分に着目してー

湯浅千映子(大阪観光大学)

1. はじめに

今日、重要な情報源としてネットニュースが発達し、新聞社やテレビなどの既存のメディアが発信するニュースをタイムラグなしに、大量に手にすることが可能となった。このネットニュースを読む際、最初に目にし、また、ニュースを選ぶ手がかりとなるのが、「見出し（ヘッドライン）」である。

共同通信社『記者ハンドブック第12版新聞用字用語集』（2010）によれば、「見出しは読者を本文へと引きつけ、いざなう看板、案内標識であるとともに、記事の勘所を前もって知らせ、本文を読みやすくする役目を果たす。簡潔な記事の極致でもある」とある。また、小宮（2012）は、新聞の報道記事の「見出し」について、「ニュースの表題であり、読者に一目で記事の要点を知らせ、読む必要があるかどうかの判断材料を提供する」という。

本発表が分析資料とするのは、一般向けNHK「NEWS WEB」（www.nhk.or.jp/news）と小中学生や外国人向けに「やさしい日本語」で書かれたNHK「NEWS WEB EASY」（www.nhk.or.jp/news/easy）の見出しである¹。これらは、記事本文の内容が対応しながら、ニュースの受け手の属性が異なることで、表現を書き分けている。以下は、2019年5月14日配信のニュースで、aがNHK「NEWS WEB」・bがNHK「NEWS WEB EASY」である。「NEWS WEB EASY」で、「NEWS WEB」の記事本文を小中学生・外国人向けに書き換えるのと同様、見出しもパラフレーズがなされている²。

(1a)百舌鳥・古市古墳群 世界文化遺産登録へ

【記事本文】世界文化遺産への登録を目指している大阪府の「百舌鳥・古市古墳群」について、ユネスコの諮問機関は世界遺産に登録することがふさわしいとする「記載」の勧告をまとめました。これにより、「百舌鳥・古市古墳群」はことしの世界遺産委員会で世界文化遺産に登録される見通しとなりました。

(1b)百舌鳥・古市古墳群がユネスコの世界遺産に決まりそう

【記事本文】日本は、大阪府にある「百舌鳥・古市古墳群」をユネスコの世界遺産に推薦しています。「百舌鳥・古市古墳群」は、4世紀から5世紀ごろの偉い人たちの墓です。全部で49の墓があります。仁徳天皇の墓だと言われているとても大きい墓は長さが48.6mあります。ユネスコに協力しているイコモスは「百舌鳥・古市古墳群」について調べました。そして、世界遺産にしたほうがいいとユネスコに伝えました。「百舌鳥・古市古墳群」は、今年のユネスコの会議で世界遺産になることが決まりそうです。

ニュースの見出しは、記事本文の「リード」部分を中心に重要とされる情報を取り出し、それらをつなぎ合わせることで作られる。ニュースの読み手は、限られた文字数の中で記事内容を予測し、読み進める。不完全な文である見出しに、適当な語句を補い、完全な文の形に復元して読み取ることで、ニュースの概要をつかむ。こうした見出しの読み取りは、日本語を学ぶ外国人にとって、困難さを感じる場合も少なくないだろう。

(2a) 今年の漢字は「輪」	(2b) ことしの漢字かんじは「輪」になる
(3a) ドコモが小・中学生向けスマホを発表	(3b) 小学生や中学生が使うスマートフォンを発表
(4a) 東京おもちゃショー始まる	(4b) おもちゃショーにタブレット端末やスマートフォンのおもちゃ
(5a) アップル iPhone 5発表	(5b) アップルが新しいiPhoneを発表

(5a) の場合、主語「アップル」と述語「iPhone 5」の間に置かれた「半角の空白」が主語と述語の境目

¹ 本発表では、配信日が2012年4月～2014年12月の「NEWSWEB」・「NEWS WEB EASY」の見出しとその記事本文を分析資料とする。

² 田中（2018）によれば、「NEWS WEB EASY」へとやさしく書き換える方法に、旧日本語能力試験3,4級の語彙を使用する、文の長さを短く、受動態や慣用表現を避ける、専門用語や固有名詞の説明の追加、冒頭のリード文や周辺的情報の削除があるという。

を示すマーカーとして機能している。(5b)では、助詞を補い、1文化している。NHK「NEWS WEB」をはじめ、さまざまなニュースの見出しにおいて、この「半角の空白」が多用される。

(6a) NY 炭酸飲料の大きさ規制へ	(6b) 太りすぎないように飲み物の入れ物を小さくする
(7a) 米 102歳の女性が空を舞う	(7b) アメリカで102歳の女性が空を飛ぶ
(8a) アジアの学生招き就職面接会 東京	(8b) アジアの学生を東京に招待して就職の面接

「半角の空白」の前に位置し、見出しの文頭となれるのは、主語だけとは限らない。(5a)は、その記事本文で「ニューヨーク市は」と始まり、出来事の主体を指すのに対し、(6a)・(7a)は、「アメリカで」・「東京に」といった出来事の行われた場所を示している。

本研究は、内容を同じくするNHK「NEWS WEB」・NHK「NEWS WEB EASY」の両記事を比較対照し、小中学生向け・外国人向けとされる見出しの表現上の特徴を明らかにすることを目的とする。本発表では、一般向けの「NEWS WEB」の見出しで、特にその内部に「半角の空白」を含む見出しに着目し、①「半角の空白」を介した、見出しの前部分と後部分でどんな有機的なつながりがあるのか、また、②「半角の空白」を伴うことで、見出し単体で記事内容を予測することが難しくなった一般向け「NEWS WEB」の見出しを、「NEWS WEB EASY」でどう言い換えて表現し、小中学生や外国人向けのやさしさをどう実現しているのかを見ていく。

2. 先行研究

- ・「見出し」の構造について…寺川 (1991) /はんざわ (2018)
- ・「見出し」の省略について…野口 (2002) /森山 (2009)
- ・「見出し」の「無助詞化」について…黒崎 (2007)
- ・「見出し」の「半角の空白」について…野口 (2002) /尹 (2015) /はんざわ (2018)

3. 分析の方法

本発表では、寺川 (1991)・はんざわ (2018)などを参照し、NHK「NEWSWEB」の見出し上の語句の連続を「文」としてとらえ、見出し上の「話題」部分と「説明」部分をつなげ、「文(有題文もしくは無題文)」を生成できるかという観点から、見出しの全体的構造を整理した。さらに、黒崎 (2007)に沿って、助詞「が」や「は」の代わりに「半角の空白」を置くNHK「NEWSWEB」の見出しが、記事本文のどんな内容を見出し上に取り立ててまとめているか、意味上の分類を行った。以上の結果をふまえ、NHK「NEWS WEB EASY」の見出しとの比較分析を通し、小中学生や外国人向けとされる見出しの特徴を考察する。

4. ニュース見出しの構造、形式的分類

図1 ニュース見出しの全体的構造

I	「話題」・「説明」…単文に相当	
	a 「話題」 「説明」 (無助詞)	東京おもちゃショー始まる
	b 「話題」 助詞「は」 or 助詞「が」 「説明」	今年の漢字は「輪」 ドコモが小・中学生向けスマホを発表
	c 「話題」 半角の空白 「説明」	アップル iPhone 5発表
	d 「説明」 半角の空白 「話題」	アジアの学生招き就職面接会 東京
II	「説明」のみ…句に相当	プーチン氏と秋田犬の写真公開 北京で日本語のアナウンス大会
III	「話題」 or 「説明」 or 「話題・説明」 半角の空白 「話題」 or 「説明」 or 「話題・説明」…2文に相当	海外でエビ大量死 輸入冷凍エビの価格高騰 中国のスパコン世界最速に 日本は4位
	※見出し内部に半角の空白が2箇所以上存在し、2～3文に相当する場合もある。	米 世界最大 ゲーム業界の見本市開幕 韓国 旅客船沈没 死者100人超に
IV	会話の引用	赤崎氏「これ以上の名誉はない」 「ニワトリ鳴くのは体内時計が機能」

「NEWSWEB」・「NEWS WEB EASY」とも、Iの「話題」と「説明」の組み合わせで構成される見出しが最も多く見られた。「NEWSWEB」では、中でも半角の空白ありのIcが最も多く、全体の7割以上を占める。これを「NEWS WEB EASY」で助詞を伴い、1文化する1bの言い換えパターンが最も多い。その場合、(6b)のように、NYという行為の主体

を見出し上で明示せず、叙述部分に注視させる見出しも見られた。こうした「NEWSWEB」の半角の空白ありのIc（単文相当）やIII（2文相当）の見出しで、「NEWS WEB EASY」で半角の空白なしの「文」となる例は、全体の5割以上であった。

また、「NEWS WEB EASY」では、ニュースの書き手の語りを引用し、再現したようなIVの例があった。

（9a）「乳幼児の歯磨き中の事故に注意を」／（9b）「小さい子どもが歯を磨いているときは気をつけて」

助詞止めの「を」の後には、希望や要望、当然、適当を表す「よう」「たい」「べきだ」などの形式が省かれている。これが（9b）の見出しで「気をつけて」となっており、まるでニュースを受け取る側の子どもや外国人のそばにいて、語りかけるような口調がある。

5. ニュース見出しの「半角の空白」が何を表すのか

見出しの話題部分と説明部分の間に「半角の空白」を置くIcの見出しについて、見出しの文頭でどんな内容の語句が主題化するのか、黒崎（2007）の分類によって見たところ、「A 特定の個人または団体」・「B 出来事または出来事を中心事物」・「C 読者の目をひくための言葉」の3タイプが見られた³。aがNHK「NEWS WEB」・bがNHK「NEWS WEB EASY」である。

図2 「半角の空白」を伴うニュース見出しの意味的特徴

A	地名	
	(10a) 中国 ネット利用者5億人超え	(10b) 中国 インターネット利用が5億人以上に
	個人名	
	(11a) 若田さん アイソンすい星撮影	(11b) アイソンすい星を国際宇宙ステーションから撮る
B	会社組織名	
	(12a) 農水省 和食の魅力の海外発信強化へ	(12b) 和食のすばらしさを世界にもっと知ってもらう
	出来事	
	(13a) 三陸沖の地震 M7前後の地震ほぼ同時発生	(13b) 2つのM7の地震が起きていた
C	(14a) 五輪開催 東京の支持率は約70%	(14b) “オリンピックを東京で” 東京で賛成する人は70%
	(15a) ボストン爆発 容疑者2人の映像と写真公開	(15b) FBIが爆破テロ事件の容疑者のビデオを発表
	出来事を中心事物	
	(16a) 太平洋クロマグロ 絶滅危惧種に指定	(16a) 太平洋のクロマグロが「絶滅危惧種」になる
	(17a) 上野のパンダ 公開を再開	(17a) 上野動物園の「シンシン」 赤ちゃんはできなかったが元気
	(18a) 世界初 アンドロメダ銀河の鮮明全体像	
	(18b) 「アンドロメダ銀河」がはっきり見える写真を撮ることに成功	
	(19a) 理化学研究所 世界初 iPS 臨床研究を申請	(19b) 世界で初めて iPS 細胞で目の病気を治す研究
	(20a) 世界最高齢 116歳男性死亡	(20b) 世界でいちばん長生きをした116歳の男性が亡くなる
	(21a) 思い浮かべるだけ 家電や車いすを操作	(21b) 頭で考えるだけで電化製品や車いすが動く
	(22a) グランドキャニオンで綱渡り	(22b) 高さ460m アメリカのグランドキャニオンで綱渡り

Bは、見出しの文頭で、ニュースの出来事やそのニュースにまつわる中心事物をまず目にするすることで、そのニュースが一体どんな種類のニュースなのかを即、認識できる。知りたいニュースに素早くアクセスする、インデックスのような効果が期待できよう。これらの見出しの記事本文のリード部分を見ると、(13a)「先月、宮城県で津波が観測された三陸沖の地震について」など、「～について」で始まる。「～について」は、「前提となる事柄の中から範囲を限定する」という意味をもつ。その「前提となる事柄」とは、既に人々の間で常識として共有されている情報と解釈できよう。(15a)「ボストン爆発」の場合、過去にボストンのマラソン会場での爆発事件が第一報として報じ

³ Cについては、黒崎（2007）で、話題が提示されない見出しに位置づけていたが、本分析資料の見出しの場合、AにもBにも該当しない内容を文頭に置き、話題として注目させる見出しが存在していた。よって、Cも読者の目をひく話題を文頭に提示される見出しとして、A、Bに並ぶものとする。

られ、既知の出来事である。「NEWS WEB EASY」の読者である小中学生や外国人に対しては、その既有知識がないものと判断し、一般向け「NEWSWEB」の見出し上には現れない、行為の主体（「FBIが」）を見出しの文頭に置く。

Cは、ニュース記事の主たる内容を示す前に、周知的・補足的な情報を冠のように見出しの文頭に添えて、読者の注目を引き、読者を記事本文へと誘う例である。「NEWSWEB」・「NEWS WEB EASY」の両者で見られた、(18a)「世界初」、(19b)「世界で初めて」など、読者が記事内容に興味を抱き、表現の目新しさや意外性でニュースの価値を高める効果が期待できる。

6. さいごに

本発表は、小中学生や外国人を対象のNHK ややさしい日本語ニュースの見出しと、内容を同じくする一般向けのNHK ニュース記事を比較し、見出しの文頭を中心に、その形式面（見出しの文頭がどんな形式で話題を提示するか）と内容面（見出しの文頭にどんな内容の話題が来るか）について分析した。

「NEWSWEB」・「NEWS WEB EASY」とも、見出しの文頭の主語に相当する部分と述部との間に「半角の空白」を置くことで、「半角の空白」が見出しの話題を示すマーカーとしての機能を果たすことがわかった。その「半角の空白」見出しの文頭で「出来事や出来事の事物」を示し、これを主題化・話題提示とするものも多く見られた。また、「NEWSWEB」の見出しと視点を変え、記事本文の中でニュースの読み手の興味・関心を引く内容を見出し化することで、小中学生や外国人にニュースへの親近感を持たせる手法も見られた。

日本語を学ぶ外国人がニュースを読む際には、見出し特有の助詞の用法など、見出しの文法の理解が求められる。また、学習者にとって初見のニュースであっても、見出し解読のルールを適用し、さらに、記事本文だけでは知り得ない既存の非言語知識を総動員させ、情報の欠けた部分に適切な語句を補うなどの高度な読み取り技能が要求される。「NEWS WEB EASY」は、そうした負担を軽減し、見出しを眺める中で学習者自らがニュースを選び、ニュースに親しむことを可能にしている。

参考文献

はんざわかんいち (2018). 即題—新聞投稿 題名の愉楽 明治書院

小宮千鶴子 (2011). 新聞の文体 文章・談話・表現の事典 明治書院

黒崎佐仁子 (2007). 話題提示に見られる無助詞文の条件—ニュース見出しを中心として— 早稲田大学日本語教育学, 1, 67-80.

共同通信社 (2010). 記者ハンドブック第12版新聞用字用語集 一般社団法人共同通信社

水内純清 (2001). 新聞の見出しに見る助詞の省略と効用 東アジア日本語教育・日本文化研究, 3, 181-188.

森山卓郎 (2009). 新聞見出しの文法・序説 日中言語研究と日本語教育, 2, 13-20.

野口崇子 (2002). 見出しの文法—解読への手引きと諸問題 講座日本語教育, 38, 94-123.

高橋太郎 (1993). 述語によってできた述語形式 日本語学, 12(10), 18- 26.

田中英輝・美野秀弥・越智慎司・柴田元也 (2013). やさしい日本語ニュースの公開実験 NHK 技研 R&D, 139, 20-29.

田中英輝・美野秀弥 (2018). ニュースのためのやさしい日本語とその外国人日本語学習者への効果 NHK 技研 R&D, 168, 36-48.

寺川みち子 (1991). 新聞見出しに見る装定と述定 田島毓堂・丹羽一弥(編) 日本語論究3：現代日本語の研究 和泉書院 pp. 109 - 128.

打浪文子・岩田一成・熊野正・後藤功雄・田中英輝・大塚裕子 (2017). 知的障害者向け「わかりやすい」情報提供と外国人向け「やさしい日本語」の相違—「ステージ」と「NEWSWEB EASY」の語集に着目した比較分析から— 社会言語科学, 20(1), 29-41.

湯浅千映子 (2014). ネットのニュース記事における見出しの機能 早稲田日本語研究, 13, 13-23.

湯浅千映子 (2016). NHK「NEWSWEB EASY」のヘッドラインの機能 NHK「NEWSWEB」との比較と日本語授業への活用 埼玉大学日本語教育センター紀要, 10, 17-28.

尹盛熙 (2015). 新聞見出しにおける日韓の省略と縮約—形式的違いを中心に— 日本学報, 104, 33-50.